



西部小

令和2年度 第12号
7月31日(金) 発行

嬭恋村立西部小学校学校だより
TEL 0279-96-0013
FAX 0279-96-2023

【学校教育目標】思いやりの心を持ち、自ら学び、健康でたくましく、生き生きと輝く児童の育成
【具体目標】 ○仲良く助け合える子(徳) ○よく考え学び続ける子(知) ○進んで体をきたえる子(体)

本日、終業式！ 明日から「夏休み」！

～「交通安全」、「日常生活内での安全」、そして「外出時の安全」に注意しよう！～



6月15日から始まった学校再開に伴う1学期が、本日終了しました。
例年の1学期の授業日数は、70日前後あるのですが、今年度は、33日間でした。例年の半分以下の日数となっています。児童はこの短い1学期、学習に、運動に、精一杯頑張ってきました。また、学校が休業中においては、家庭学習等、保護者の皆様に大きな力をお借りいたしました。心より感謝を申し上げます。
4月以降、例年のない対応を、学校も家庭もしてまいりましたが、本日で1学期の区切りを迎えることができました。明日からの夏休みについても、例年と違い、わずか17日間だけとなります。短い期間ではありますが、「交通事故」、「日常生活内での事故」、「外出時の事故」等に注意するよう、ご家庭でのご指導をよろしくお願いいたします。



西部小の皆さんへ

今年の夏休みは、とても短いです。だからこそ、規則正しい生活を送りましょう。夏休みが短い分、2学期もすぐに始まります。1学期に過ごしてきた毎日の生活リズムを崩さずに休みを送って欲しいと思います。

二者面談、お世話になります

3日(月)から5日間を使って、二者面談をお世話になります。今年度は、家庭訪問も授業参観も実施できていません。そうした中で、担任の先生と直接話せる機会を設けました。学校での様子をお伝えすると同時に、各担任に家庭でのお子さんの様子をお知らせください。

「メディア」漬けの生活とならないようにしよう！！

先日、嬭恋中学校では、全校生徒を対象として「平日・休日のゲーム時間調査(生徒の自己申告)」を行いました。休日に中学1～3年生で、メディアに向かっている時間は平均で2.8時間以上になるということでした。夏休みを迎えるにあたり、中学校では学校も、保護者もつかんでおかないといけない情報として発信されました。中学生は、進路も関わっていることから、こうした調査を行ったのだと考えます。

小学生についても、家庭での見守りをお願いいたします。小学生時に「メディアに触れていたい」という衝動を、少しでも自己コントロールできるよう期待したいところです。

西部小の皆さん、メディアに接していきたい気持ちを、ガマンする気持ちを持てるようにしましょう！

===「夏休みのしおり」は配布しません===

例年、児童および家庭向けとして、1冊にまとめた「夏休みのしおり」を配布していました。
○プール開放日 ○プール監視協力保護者名
○水泳強化練習関係 ○マーチング練習関係
内容はこれらを掲載していましたが、今年はこうした活動ができないことと、夏休みが短いという理由によって発行いたしません、ご理解とご了承をお願いいたします。

大切なことは、時間を決めること…

メディア(YouTube、オンラインゲーム等)とともに生活をしていくのに必要な姿勢は、「時間を決めて、見る、やる」

だと思えます。17日間の「夏休み」を有意義に過ごして欲しいと思えます。



孺恋西部地区「民生委員の皆様」が来校しました！

～意見交換での貴重なご意見をありがとうございました～



28日(水)午後1時30分から、民生委員の皆様による学校訪問を実施し、授業参観および校長からの学校の様子を説明後に意見交換をいたしました。

今年度は、西部地区の民生委員全ての皆様にお声掛けをして来校していただきました。
【来校された民生委員の皆様については、下記をご覧ください。】

授業参観では…

学期末の学習に一生懸命取り組む児童の様子、教室内外の掲示物、先生方の指導の様子など、短時間ではありましたが、授業の公開という機会を持たせていただきました。授業中の児童の皆さんは、一生懸命学習に取り組んでいました。夏休みを控えている中で、落ち着いて集中できている児童達の様子に、民生委員の皆様も感心していました。

授業参観後には…

校長より現在の学校の様子(今年度、6月から本格的に学校が再開されたこと等…)を述べさせていただきました。比較的若い先生方が多い、バイタリティーのある学校であることや、大切にしているのは、「安心安全な学校」、そして「保護者との連携(報告・連絡・相談等)：生活ノートを含め、電話を通じて情報交換と情報共有を行っていること」をお伝えしました。



意見交換では…

学校行事や各種大会、イベント等が軒並み中止となっている中、児童には「生き生きとワクワクするような学校生活を送れるようにしてほしい」とのお願いがありました。これに対しては、学校で過ごす時間内で、『楽しかった・やり切った』といった満足感、充実感を与えることが大切だとお答えすると同時に、先生方にも校内における教育活動で、そうした思いを持てる授業・活動に取り組むよう翌日の朝会で話をさせていただきました。

一番心配されていたのは、やはりコロナ対策でした。「三密」を防ぐ授業形態を希望されていました。集団生活を送らざるを得ない学校内で、可能な限り「避けるべき」行動を取っていくようにしてまいります。

さらに、「コロナ対策関連で、リモート授業の実施はあるのか」といった質問もありました。これについても孺恋村でその実施に向けて、すでに動きは始めていることをお話しました。

最後に…

「私たち、民生委員はどういった立場で学校に関わっていけば良いのか」という質問を受けました。校長として、「ぜひ、学校に対する『応援団』であって欲しい。」と述べさせていただきました。地域で児童を見守るとともに、各家庭を支える立場から、地域の核となっている学校を外部から支えて欲しい旨をお伝えしました。学校にとって、有意義な意見交換を行うことができました。

ご出席いただいた民生委員の皆様 (順不同)

田代地区	久保八百子様	宮崎 秀子様	橋詰美智子様
干俣地区	干川三保子様	黒岩 幸一様	干川美知子様
大笹地区	土屋 光枝様	関 直子様	佐藤 光一様
大前地区	古川富美子様		
浅間高原地区	深田 憲一様	若林美知子様	
主任児童委員	黒岩 祐子様		



